

事業名	芸術文化推進事業費	財務コード (事業)	284302
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	巡回児童劇場開催費(委託)
------	---------------

担当部課室	企画県民 部 生涯学習文化 課 文化振興 担当 (内線)	1661
-------	------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S48 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
事業の目的	誰(何)を対象に 演劇鑑賞の機会が少ない児童	その対象をどのような状態にして 生の優れた児童演劇を鑑賞することができる。	結果、何に結びつけるのか 豊かな情操の涵養 芸術文化活動への関心づくり
	(社)日本児童演劇協会に委託し、県内小学校の体育館等で児童演劇を巡回公演する。 299,250円×10公演=2,992,500円 [平成23年度巡回児童劇場実施状況]		
事業の内容 ※主に 23年度	開催日	開催小学校	上演作品
	6月6日	道志小学校	劇団芸優座「角〜いじめっこ姫の物語」
	6月7日	小菅小学校	劇団芸優座「角〜いじめっこ姫の物語」
	6月8日	学院大附属小学校	劇団芸優座「角〜いじめっこ姫の物語」
	6月9日	石和北小学校	劇団芸優座「角〜いじめっこ姫の物語」
	6月10日	石和西小学校	劇団芸優座「角〜いじめっこ姫の物語」
	6月13日	大石小学校	演劇集団遊玄社「音楽劇・インソプランドの動物たち」
	6月14日	須玉小学校	演劇集団遊玄社「音楽劇・インソプランドの動物たち」
	6月15日	境川小学校	演劇集団遊玄社「音楽劇・インソプランドの動物たち」
	6月16日	船津小学校	演劇集団遊玄社「音楽劇・インソプランドの動物たち」
6月17日	勝山小学校	演劇集団遊玄社「音楽劇・インソプランドの動物たち」	
根拠法令等			

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 公演回数	10回	10回	10回	10回	10回	活動指標 目標設定の考え方 年10回の開催を目標としている。 データの出典等 予算見積書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		100.0 %			
成果指標 成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	決算額、予算額 (千円) うち一財額	2,993 1,993	2,993 1,993	2,993 1,993	2,993 1,993	
所要時間(直接分)	100 時間	100 時間	100 時間	100 時間		
所要時間(間接分)	時間	時間	時間	時間		
所要時間計	100 時間	100 時間	100 時間	100 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	202	202	202	202		

III これまでの事業の見直し・改善状況

平成16年度までは開催校から経費の一部を負担金として徴収していたが、本事業は豊かな心を育む学校教育としての重要な役割も一部担っており、県と市町村との教育に対する役割分担明確化の観点から、H17年度から負担金を増額(1校あたり5万→10万)し、学校設置者である市町村の負担とした。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
	b	巡回児童劇場を実施した学校からの感想・意見等は肯定的なものがほとんどであり、また担当職員も現地まで公演を確認に行き子どもたちが感動している様子を目の当たりにしており、普段なかなか目にすることができない、生の優れた舞台芸術を間近で鑑賞することにより、子どもたちの豊かな情操の涵養と健やかな成長に役立っていることが認められ、意図した成果をほぼ上げていると思われる。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目
有	より多くの学校に巡回できるよう、申請したことのない市町村を中心に事業のPRを継続的かつ積極的に行う。	1

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	・従来通り全市町村教育委員会、国立・私立小学校あてに案内を送付するとともに、これまでに申請のない市町村を中心にメール・電話等で改めて事業の紹介・案内を行っていく。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。